

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年11月27日

事業所名 すまいる・ステップ 職員数 6 回収数 6 回答率 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			十分なスペースを確保しています	
	2	職員の配置数は適切である	6			十分な配置で細やかな対応が可能になって いると思います。法人内で職員の応援体制を 作っています	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切 になされている	5	1		ホール側入り口の階段が新しくなって良かっ たです。現在バリアフリーを必要とする利用 者はいませんが誰もが過ごしやすい環境にな るといいと思います。事業所内では、座席の 固定や視覚的表示により個々の場所をわかり やすくしています。又お仕度ボードや日課表 の視覚的な提示により、見通しや自立につな がるような設定をしています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り 返り）に、広く職員が参画している	6			改善案を職員全員が提出して、会議にて検討 しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査 を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につな げている	6			アンケートの結果を会議にて全員で共有し、 検討しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等 で公開している	6			ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につ なげている	5	1		区の指導検査により定期的な業務内容の見直 しや改善を行っています	
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保して いる	6			全職員を対象にした個別支援計画研修を実 施。また外部研修に全員が参加しました。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや 課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計 画を作成している	5	1		研修で考える機会を持てたのはとても良かっ たです	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化され たアセスメントツールを使用している	6				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設 定して支援している	6			集団活動の中で、個別の課題をふまえて設定 をしています	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み 合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われ る支援の内容や役割分担について確認している	6			始業ミーティング・各グループミーティング を行い確認をしています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われ た支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有してい る	6			終業ミーティングを行い、支援の振り返りや 各グループの共有を行っています	
適切な 支援の 提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支 援の検証・改善につなげている	6			日々記録をとり、個別支援計画や支援の改善 につなげています	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計 画の見直しの必要性を判断している	6				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援 を行っている	6				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子ど もの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1		サービス担当者会議に該当する案件がありま せんでした	
関係機 関や保 護者 との 連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子ど もの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、ト ラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6			学校より週間予定を頂いています。また送迎 時に学校での様子を伺っています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの 主治医等と連絡体制を整えている	1	3	1	医療的ケアが必要なおこさんを現在受け入れ ていません	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、 児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努 めている	4	2		児童発達支援すまいる・キッズと情報共有を 行っています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福 祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内 容等の情報を提供する等している	3	3		すまいる・ツリーに移行される方は、情報共 有を行っています	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専 門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4		外部機関や区の研修に参加しています。今年 は3か所の相談支援事業所と連携し、訪問に 来ていただきました。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子 どもと活動する機会がある		3	3		コロナ禍で休止になっていますが、以前のよ うな法人主催のイベントがあれば参加してい きたいと思います
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	5			

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6			面談時や電話にてご相談があった時に、お子様との接し方について支援しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時や変更があった時に、丁寧に説明をしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			保護者に寄り添うことを大切にして、支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	2	コロナが落ち着いてきたので、また保護者会などの開催ができると思います	保護者会や交流会を再開したいと思います
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			毎日お便りを発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	2	近隣店舗をお買い物練習で利用させて頂き、当事業所を知って頂く機会となっています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			虐待防止委員を選任し、外部研修に参加。全職員が年2回の事業所内研修に参加して、事例検討を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			身体拘束について職員の研修を行っています。保護者に説明をし了承を得て個別支援計画に記載をしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3		保護者より契約時に申告して頂き、必要な場合は「保護者とのアレルギー確認票」を提出して頂いています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			事例があった時は書類に記載し、必ず職員間で共有をし再発防止に努めています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○回答数に満たない項目には無記入が含まれます